

福島原発事故の影響を振り返り、感じ、理解し、将来に向けて
批判力を養うための2日間

放射線防護の民主化フォーラム 2023-2030

with 飛田晋秀写真展、減思力展、原子力災害考証館furusato

— 福島を経験を共有し、放射線の影響からの
“身の守り方”を市民の視点で問い直す

福島原発事故後の放射線防護における最大の問題は、市民の人権や意向を無視した方策がとられてきたことにあります。放射線の影響から身を守る「放射線防護」の基準のもととなるICRP（国際放射線防護委員会）の基本勧告が2030年頃に向けて改訂される予定です。市民を重視した放射線防護を実現するための長期的な取り組み体制づくりの第一歩として企画しました。

<会場地図>

日時

2023年11月3日(祝・金)~4日(土)



会場

福島テルサ(3階) + zoomによるハイブリッド開催
(福島市上町4番25号)

プログラム

報告会 <要事前登録>	展示会 <登録不要、自由にご覧ください>
11月3日(金・祝) 13:00-18:45 11月4日(土) 10:00-16:45	左と同じ。ただし、11月4日(土)は15:30頃まで
【プログラム】 (研究者および被災者・市民による報告と討論 —福島にゆかりのある方々が多く登壇します) ・福島を経験を共有する/ICRP146の問題 ・UNSCEAR福島報告書の問題点 ・ICRP新勧告改訂に向けて ・連帯に向けて	【展示内容】 ・飛田晋秀「(写真展)福島記憶 3.11で止まった町」 ・福島大学共生システム理工学類環境計画研究室(後藤忍教授)「減思力(げんしりょく)」の教訓を学ぶためのパネル展 — 福島第一原発事故前後の原子力・放射線教材等の記録 ・原子力災害考証館furusato 等

※登壇者やプログラムの詳細、開催の趣旨、申し込みなどは、このイベントのホームページをご覧ください(下記のQRコードから直接、申し込みもできます)。 <https://sites.google.com/view/democratize-rp/>

申込み



【報告会場での参加】

締切10/27(金)

(定員を超えた場合、お断りする場合があります。あらかじめご容赦ください)



【zoomでの参加】

(定員1000名、登録後、アクセス用のリンクが返送されます)

主催：慶應義塾大学商学部・濱岡研究室
共催：原子力市民委員会、市民科学研究室・低線量被曝研究会、科研費プロジェクト「放射線防護体系に関する科学史・科学論的研究から市民的観点による再構築へ」、福島原発事故による甲状腺被ばくの真相を明らかにする会、富山大学科学コミュニケーション研究室

問い合わせ：〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町16-16 iTEXビル3F (高木仁三郎市民科学基金内)

Tel: 03-6709-8083

E-mail email@ccnejapan.com